

平成21年度 新規採択に係る事前評価実施地区一覧表

1 直轄事業

(3) 森林環境保全整備事業

整理 番号	都 道 府 県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名	総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B/C	チェックリスト																	備考
								I 必須事項					II 優先配慮事項												
								1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性		3 事業の実施環境等								
								(1)		(2)		(3)		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)							
① ②		① ②		① ② ③ ④ ⑤																					
1	北海道	北海道森林管理局 網走西部森林管理署	森林環境保全整備	網走西部森林計画区 あばしりせいぶ	8,908,025	1,891,246	4.71	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A		
2	北海道	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署	森林環境保全整備	十勝森林計画区 とかち	8,594,750	1,100,231	7.81	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A		
3	青森県	東北森林管理局 下北森林管理署	森林環境保全整備	下北森林計画区 しもきた	12,605,858	3,000,235	4.20	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A		
4	岩手県	東北森林管理局 岩手北部森林管理署	森林環境保全整備	馬淵川上流森林計画区 まぶちかわじょうりゅう	7,675,791	2,239,321	3.43	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A		
5	宮城県	東北森林管理局 宮城北部森林管理署	森林環境保全整備	宮城北部森林計画区 みやぎほくぶ	6,635,410	1,512,366	4.39	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	B	A	A	A		
6	茨城県	関東森林管理局 茨城森林管理署	森林環境保全整備	八溝多賀森林計画区 やみぞたが	10,808,748	2,976,658	3.63	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	B	A	B	B	A	A		
7	長野県	中部森林管理局 東信森林管理署	森林環境保全整備	千曲川上流森林計画区 ちくまがわじょうりゅう	22,514,867	1,603,053	14.04	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A		
8	高知県	四国森林管理局 嶺北森林管理署	森林環境保全整備	嶺北仁淀計画区 れいほくによど	2,949,148	1,381,839	2.13	○	○	○	○	○	B	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A		

# 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりせいぶ） 網走西部森林計画区 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、網走西部森林計画区のうち、湧別川流域の遠軽町、上湧別町及び湧別町に所在する105千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の森林は、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹にミズナラ、シナノキ、カンバ等の広葉樹が混交する天然林が70%を占め、残りの30%が主に昭和30年代に造成されたトドマツ、カラマツ、アカエゾマツ等の針葉樹人工林となっている。</p> <p>当地域は、従来から豊かな森林資源を利用して林業・林産業が発達してきたところであり、近年は、地域材のブランド化を視野に入れ、森林認証の取得拡大が進んでいる。特に木材加工業では建築用材の生産が盛んなほか、木楽館など市民が木材に親しむことができる施設も整備されている。</p> <p>一方、当地域の森林は、ほとんどが保安林に指定されており、地域の水源として生活用水や基幹産業である農業や水産業の振興に資する等、水源かん養や山地災害の防止等の役割が期待されているほか、網走国定公園や白滝流紋岩球顆特定地理等保護林などの貴重な自然環境があり、また、武利岳等の登山対象山岳や北大雪スキー場野外スポーツ地域などの森林レクリエーションの場としても活用されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じて実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 50%;">58 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,205 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>52.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>50.5 km</td> </tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	58 ha			保育面積	6,205 ha		路網整備	開設延長	52.0 km			改良延長	50.5 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	58 ha																	
		保育面積	6,205 ha																	
	路網整備	開設延長	52.0 km																	
		改良延長	50.5 km																	
費用対効果分析	総 便 益 (B)	8,908,025 千円																		
	総 費 用 (C)	1,891,246 千円																		
	分析結果 (B/C)	4.71																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																			

整理番号 1

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 北海道森林管理局

事業実施地区名: 網走西部森林計画区(北海道)

網走西部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,688,993	
	流域貯水便益	610,684	
	水質浄化便益	823,011	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,523,206	
環境保全便益	炭素固定便益	637,024	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	176,799	
	木材利用増進便益	2,410	
	木材生産確保・増進便益	613,661	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	118,907	
	治山経費縮減便益	35,548	
	森林管理等経費縮減便益	677,782	
総便益(B)		8,908,025	
総費用(C)		1,891,246	
費用便益比		4.71	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（とがち） 十勝森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、十勝森林計画区の北東部に位置する128千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の森林は、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹にミズナラ、シナノキ等の広葉樹が混交する天然林が85%を占め、残りの15%が昭和30年代以降に造成されたトドマツ、アカエゾマツ等の針葉樹人工林となっている。</p> <p>また、中央を利別川が南下し、十勝川に合流する地域で利別川の川沿いに陸別町、足寄町、本別町の市街地が発達するとともに、平野部には耕地が広がっており、支流には電源開発用のダムがあるほか、国有林内には水源地在し地域の飲料水、営農用水等の各種用水の確保、水質保全、洪水による被害の防止等のため、水源かん養機能や山地災害防止機能の発揮が期待されている。</p> <p>なお、当計画区内にある足寄町、本別町及び陸別町は、従来から林業が盛んで木材等生産機能の発揮が期待される森林も多く存在している。</p> <p>一方、当地域は、阿寒国立公園に指定され、雌阿寒岳やオネトーの周辺にはトドマツ、エゾマツ、アカエゾマツの針葉樹林が広がっており、一部にはアカエゾマツの純林が見られ、自然環境の維持が望まれるとともに、自然休養林にも指定され、保健休養の場としても活用されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じて実施するものである。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1,472 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">14,467 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">23.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">30.0 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,472 ha			保育面積	14,467 ha		路網整備	開設延長	23.6 km			改良延長	30.0 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,472 ha																
		保育面積	14,467 ha																
	路網整備	開設延長	23.6 km																
		改良延長	30.0 km																
費用対効果分析	総便益（B）	8,594,750 千円																	
	総費用（C）	1,100,231 千円																	
	分析結果（B/C）	7.81																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 北海道森林管理局

事業実施地区名: 十勝森林計画区(北海道)

十勝東部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,201,242	
	流域貯水便益	725,183	
	水質浄化便益	976,092	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,327,646	
環境保全便益	炭素固定便益	605,597	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	227,338	
	木材利用増進便益	1,079	
	木材生産確保・増進便益	167,877	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	207,179	
	治山経費縮減便益	18,501	
	森林管理等経費縮減便益	137,016	
総便益(B)		8,594,750	
総費用(C)		1,100,231	
費用便益比		7.81	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（しもきた） 下北森林計画区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、青森県下北半島の全域を範囲とする下北森林計画区内の国有林野87,068 h aを対象としている。</p> <p>当計画区は、恐山火山郡等の山岳地帯と東通地区の丘陵地帯に大別され、地形は、最高峰が釜臥山（標高879m）で、平館海峡、津軽海峡に面した一部地域は急傾斜地であるが、その他は緩やかな地形となっている。</p> <p>林況については、山岳部にヒバやブナを始めとする国内でも有数の針広混交林の天然林が広がっており、丘陵部はスギを主とする人工林が多く、その中でも昭和30年代以降に造成された森林が多い。</p> <p>当計画区は、国有林野面積の86%が保安林に指定されており、地域の水源地帯として水源かん養機能の高度発揮が強く求められているほか、民家の直近まで国有林が存在するため、山地災害防止機能についても、その発揮が強く求められている。</p> <p>また、当地域は、古くからヒバの生産・加工で栄えてきた林業地域であるが、現在は、戦後造林されたスギ等が収穫期を迎え、伐採量の増加が見込まれており、スギ合板用材等の需要が伸びつつある地域である。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策、水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">1,233 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,805 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>59.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,233 h a			保育面積	5,805 h a		路網整備	開設延長	59.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,233 h a												
		保育面積	5,805 h a												
	路網整備	開設延長	59.1 km												
費用対効果分析	総 便 益（B）	12,605,858 千円													
	総 費 用（C）	3,000,235 千円													
	分析結果（B/C）	4.20													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化対策や国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施主体:東北森林管理局

事業実施地区名:下北森林計画区(青森県)

下北森林管理署

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,430,365	
	流域貯水便益	622,907	
	水質浄化便益	833,051	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,231,169	
環境保全便益	炭素固定便益	711,584	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	123,602	
	木材利用増進便益	80,254	
	木材生産確保・増進便益	3,076,020	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	2,397,955	
	森林管理等経費縮減便益	98,951	
総便益(B)		12,605,858	
総費用(C)		3,000,235	
費用便益比		4.20	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（まぶちがわじょうりゅう） 馬淵川上流森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 岩手北部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、岩手県北西部に位置する馬淵川上流森林計画区内の国有林野33,326 h aを対象としている。</p> <p>当計画区は、西に奥羽山脈、南に岩手山、東に北上山地が連なっており、これら山地に囲まれた地域にある。</p> <p>林況については、山岳部がブナを主体とする広葉樹の天然林が大半を占め、丘陵部はスギ、カラマツを主体とする人工林となっている。</p> <p>当計画区は、水源かん養保安林を主とする保安林が国有林の67%となっており、下流の水道用水や農業等産業用水の水源として重要な役目を担っている。このほか、「安比森林スポーツ林」を始めとして、スキーや登山など森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、当地域は、従来から南部アカマツ、浄法寺漆、しいたけ、木炭といった林産物の国内有数の産地であり、近年、市場からも評価が高まっていることから、これらの活用や地域材であるカラマツのブランド化、木質バイオマスの利活用促進など、林業・木材産業の活性化に対する期待が高い地域である。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">332 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,590 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">56.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	332 h a			保育面積	2,590 h a		路網整備	開設延長	56.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	332 h a												
		保育面積	2,590 h a												
	路網整備	開設延長	56.1 km												
費用対効果分析	総便益（B）	7,675,791 千円													
	総費用（C）	2,239,321 千円													
	分析結果（B/C）	3.43													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：地球温暖化対策や国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、実施の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 東北森林管理局

事業実施地区名: 馬淵川上流森林計画区(岩手県)

岩手北部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	878,956	
	流域貯水便益	397,448	
	水質浄化便益	531,531	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,107,110	
環境保全便益	炭素固定便益	415,161	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	135,923	
	木材利用増進便益	61,083	
	木材生産確保・増進便益	2,393,959	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	623,392	
	森林管理等経費縮減便益	131,228	
総便益(B)		7,675,791	
総費用(C)		2,239,321	
費用便益比		3.43	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（みやぎほくぶ） 宮城北部森林計画区 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、宮城北部森林計画区内の国有林野70,463haを対象としている。当計画区は、奥羽山脈の山岳地帯、北上山地の丘陵地帯、及びこの2つの地帯に挟まれた平野部からなっている。</p> <p>林況については、山岳地帯の上部はブナの天然林、下部はミネカエデやミズナラを主とする天然林、丘陵地帯はスギ、アカマツを主とする人工林、海岸地帯はアカマツ、クロマツ、モミを主とする天然林、平野部はスギを主とし、ヒノキが混交する人工林など、山岳部から海岸部にかけて多様な森林が構成されている。</p> <p>当地域は、これらの豊かな森林資源を利用した木材加工が従来から発達しているほか、キノコや山菜等林産物を利用した食品加工工業が重要な産業となっている。また、平野部は我が国有数の穀倉地帯の大崎平野をはじめとする水田地帯が広がっているほか、沿岸地帯は養殖等の漁業が行われており、国有林はこれらの源流部等の重要な水源地帯に位置している。</p> <p>このほか当計画区内は、優れた自然景観を有する森林が多いことから、国定公園、自然公園に指定されている地域が多く、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通して多くの人々に利用されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">398 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">3,758 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">44.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	398 ha			保育面積	3,758 ha		路網整備	開設延長	44.6 km			改良延長	0.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	398 ha																
		保育面積	3,758 ha																
	路網整備	開設延長	44.6 km																
		改良延長	0.1 km																
費用対効果分析	総 便 益 (B)	6,635,410 千円																	
	総 費 用 (C)	1,512,366 千円																	
	分析結果 (B/C)	4.39																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化対策や国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 東北森林管理局

事業実施地区名: 宮城北部森林計画区(宮城県)

宮城北部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	750,596	
	流域貯水便益	325,483	
	水質浄化便益	435,424	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,687,494	
環境保全便益	炭素固定便益	402,413	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	140,744	
	木材利用増進便益	57,530	
	木材生産確保・増進便益	1,862,880	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	868,242	
	森林管理等経費縮減便益	104,604	
総便益(B)		6,635,410	
総費用(C)		1,512,366	
費用便益比		4.39	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（やみぞたが） 八溝多賀森林計画区 （茨城県）		事業実施主体	関東森林管理局 茨城森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、茨城県北部に位置する八溝多賀森林計画区35,740 h a の国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の森林で重視すべき3機能区分は、水土保持林27,263 h a（76%）、森林と人との共生林2,727 h a（8%）、資源の循環利用林5,750 h a（16%）となっている。</p> <p>当計画区の国有林野は、各河川の源流部に位置し、600m～1,000m級で比較的標高が低く、中傾斜地又は緩傾斜地で、林木の生育条件に恵まれ、スギ、ヒノキの優良な人工林が造成されている。また、花園溪谷や袋田の滝等豊かな森林景観に恵まれ、登山、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション等の保健休養の場として多くの国民に利用されている。</p> <p>一方、森林に対する国民の要請は、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくり等の面で期待が高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化しており、開かれた「国民の森林」の実現に向けた取組が求められている。</p> <p>当事業は、これら地域の特性や国民の要請を踏まえて、地球温暖化防止、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、必要な更新、間伐等の保育作業並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能区分に応じた形で実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%;">720 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,675 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>22.6 k m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>27.8 k m</td> </tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	720 h a			保育面積	5,675 h a		路網整備	開設延長	22.6 k m			改良延長	27.8 k m
主な事業内容	森林整備	更新面積	720 h a																	
		保育面積	5,675 h a																	
	路網整備	開設延長	22.6 k m																	
		改良延長	27.8 k m																	
費用対効果分析	総 便 益（B）	10,808,748 千円																		
	総 費 用（C）	2,976,658 千円																		
	分析結果（B/C）	3.63																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																			

## 便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施主体:関東森林管理局

事業実施地区名:八溝多賀森林計画区(茨城県)

茨城森林管理署

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,635,916	
	流域貯水便益	743,646	
	水質浄化便益	994,522	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,360,010	
環境保全便益	炭素固定便益	1,331,999	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,163,177	
	木材利用増進便益	22,133	
	木材生産確保・増進便益	698,774	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	738,653	
	森林管理等経費縮減便益	119,918	
総便益(B)		10,808,748	
総費用(C)		2,976,658	
費用便益比		3.63	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（ちくまがわじょうりゅう） 千曲川上流森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、千曲川上流森林計画区の上田市、東御市、小諸市、佐久市、及び南佐久郡、北佐久郡、小諸郡内の町村に所在する58,742haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、長野県東部に位置し、森林の現況は人工林52%、天然林48%となっており、このうち人工林は、信州カラマツの発祥地であることからカラマツが81%と特に多く、次いでアカマツの12%となっている。</p> <p>年間降水量は1,000mm前後と少ないため、農業用水などは古来から溜め池等に依存し、飲料水についても山麓の地下水や湧水を使用している。また、川上村に源を発する千曲川は、佐久平、善光寺平、越後平野の重要な水源となっていることから、国有林野面積の92%が水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>当計画区は、上信越高原国立公園を始めとして、秩父多摩甲斐国立公園、八ヶ岳中信高原国定公園、妙義荒船佐久高原国定公園など多くの貴重な自然環境を有しており、首都圏にも近いことから、軽井沢は古くから国民の保健休養の場として利用されている。また、高速交通網等の整備に伴い、優れた自然景観に恵まれている北白樺、菅平、野辺山等の地区においても、森林を利用したスキー場や森林浴等の保健休養の場として首都圏から多くの人を訪れている。</p> <p>当地域の木材加工業については、郷土樹種であるカラマツ材の生産及び利用の先進地であり、カラマツを利用した木材加工業が発達している。</p> <p>当事業は、当該計画区内の国有林野の有する水源かん養機能、山地災害防止機能や保健文化機能などの公益的機能の発揮を積極的に高めていくことを第一とし、併せて木材加工業の振興を図るためカラマツの安定供給に努めることとして、それぞれの森林の機能が適切に発揮されるよう効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、機能類型に応じた長伐期・針広混交林施業等多様な森林整備を実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">100 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,645 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.3 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	100 ha			保育面積	4,645 ha		路網整備	開設延長	6.9 km			改良延長	2.3 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	100 ha																
		保育面積	4,645 ha																
	路網整備	開設延長	6.9 km																
		改良延長	2.3 km																
費用対効果分析	総便益（B）	22,514,867 千円																	
	総費用（C）	1,603,053 千円																	
	分析結果（B/C）	14.04																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 国土の保全、水源のかん養及び自然環境の維持・保全、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等、公益的機能の発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るため、更新・保育及び主間伐を積極的に推進し、これに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施主体:中部森林管理局

事業実施地区名:千曲川上流森林計画区(長野県)

東信森林管理署

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	9,886,943	
	流域貯水便益	1,262,131	
	水質浄化便益	1,687,924	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,426,029	
環境保全便益	炭素固定便益	1,728,118	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,280,112	
	木材利用増進便益	2,640	
	木材生産確保・増進便益	1,787,773	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	262,199	
	治山経費縮減便益	63,165	
	森林管理等経費縮減便益	127,833	
総便益(B)		22,514,867	
総費用(C)		1,603,053	
費用便益比		14.04	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（れいほくによど） 嶺北仁淀森林計画区 （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、高知県の中央部に位置し、四国山地の主軸を成す石鎚、剣山の二大山脈に沿って、瓶ヶ森、稲叢山、佐々連尾山、高山等の山系に分布する191千haを対象とし、国有林野面積は27千haとなっている。</p> <p>当計画区は、年平均気温13.7℃、平均年間降水量は2,245mmと林木の生育に適した気候条件下にあり、スギを中心とした植林が行われており、人工林率は69%となっている。このため間伐の推進、木材利用の推進等、持続可能な森林経営による地域振興、とりわけ人工林資源の充実を背景に良質な木材供給を行うことが期待される計画区である。</p> <p>一方、瓶ヶ森、寒風山、白髪山等に分布している天然林は、多様な樹種、林相からなる自然美に優れ、自然休養林等のレクリエーションの森等に指定されているほか、貴重な野生動植物の広域化や相互交流に資する等、生物多様性保全のための「四国山地緑の回廊」石鎚山地区、剣山地区にも指定されている。</p> <p>これらのことから、当計画区において、国土の保全、水源のかん養に加え、自然環境の保全、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">213 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">1,699 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">9.70 Km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	213 ha			保育面積	1,699 ha		路網整備	開設延長	9.70 Km
主な事業内容	森林整備	更新面積	213 ha												
		保育面積	1,699 ha												
	路網整備	開設延長	9.70 Km												
費用対効果分析	総 便 益 (B)	2,949,148 千円													
	総 費 用 (C)	1,381,839 千円													
	分析結果 (B/C)	2.13													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化の防止対策、生物多様性の保全、国土の保全、水源かん養等の森林の有する多面的機能の発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

事業実施主体:四国森林管理局

事業実施地区名:嶺北仁淀森林計画区(高知県)

嶺北森林管理署

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	582,591	
	流域貯水便益	205,393	
	水質浄化便益	274,684	
山地保全便益	土砂流出防止便益	329,015	
環境保全便益	炭素固定便益	170,502	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	96,234	
	木材利用増進便益	34,749	
	木材生産確保・増進便益	451,592	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	669,821	
	治山経費縮減便益	118,259	
	森林管理等経費縮減便益	16,308	
総便益(B)		2,949,148	
総費用(C)		1,381,839	
費用便益比		2.13	